

令和7年度 一般会計予算賛否討論

◇定例会最終日に、令和7年度一般会計予算の内容について、5会派が賛成・反対の討論を行いました。

反対 保守の会 河合 ゆうすけ 議員

令和7年度戸田市一般会計予算に反対する理由は3点。1点目、外国人への生活保護支給は法的根拠がなく、相互主義にも反する。2点目、コロナワクチン接種案内通知は、市の立場として中立性を欠く。3点目、経費削減の余地があり、削減した財源を小学校給食費の無償化や動物愛護政策へ予算を配分すべき。地方自治の本旨に基づき、本市独自の予算編成を求め反対する。

反対 新時代 渡辺 るい 議員

行政運営には無駄な支出や非効率な予算の使い方が見受けられる。限られた財源を最大限活用するため、経費削減と業務の効率化を進めるべき。物品調達や契約の見直しを行い、支出の優先順位を明確にすることで、財政の無駄を削減できる。特に、小学校給食費の無償化は、市民の生活向上につながる重要な施策。財政の適正化を進め、その成果を市民に還元することを強く求め反対する。

賛成

日本共産党戸田市議団 むとう 葉子 議員

物価高騰が続く中、市民生活を支える施策が盛り込まれている。特に、中学生の給食費無償化、障害児受け入れ枠の拡充、学習支援の充実など、子育て世帯にとって大きな支援となる施策を評価する。また、プレミアム付商品券の発行による経済支援、消防職員の資格取得補助、平和事業の推進も重要である。今後も物価高騰に対し、迅速な生活支援の拡充を求め賛成する。

賛成

公明党 竹内 正明 議員

本予算は過去最大規模となり、市民の要望を反映した重要な施策が盛り込まれている。特に、中学生の給食費無償化や学習支援、防災対策の強化、道路・インフラ整備の推進、防犯対策の充実など、市民の安全・安心を支える施策が充実している。また、文化芸術の振興にも力を入れ、市民の生活を豊かにする取り組みが進められる。財政の健全性を確保しつつ、市民サービスの向上を図る本予算に賛成する。

賛成

戸田の会 矢澤 青河 議員

本予算は「子ども応援」「100年健康」「防災プロジェクト」を柱とし、中学生の給食費無償化や産後ケア拡充、重層的支援体制の整備など、市民の生活向上に資する施策が多く含まれている。防災・防犯対策も強化され、大規模水害対策や道路陥没防止のための調査も迅速に進められる。また、税外収入確保や情報システムの効率化にも注力し、財政の健全化に配慮した予算。市民生活を支える施策が適切に構成されていることから賛成する。

予算 議案第44号 令和7年度戸田市水道事業会計予算

可決(賛成19人 反対5人)

反対 日本共産党戸田市議団 本田 哲 議員

水道料金が平均33.66%引き上げられ、市民や事業者の負担は約5.8億円増加する。物価高騰が続く中、この値上げは生活をさらに圧迫し、公衆衛生の維持にも影響を及ぼしかねない。水道法では「清浄で低廉な水の供給」を目的とし、地方自治法も「住民福祉の増進」を基本としている。財政調整基金に38億円を積み立てる余裕がある本市は、一般会計からの繰入れなどで市民負担を軽減すべきであり、市民の命と暮らしを守るため本予算に反対する。

賛成

戸田の会 野澤 茂雅 議員

本市の水道料金は28年間据え置かれ、経営は厳しい状況にある。このままでは老朽化した施設の更新や耐震化が困難となり、災害時の断水リスクが高まる。水道事業は独立採算が求められ、現世代が適切に負担を分かち合うことで、将来世代への過度な負担を避ける必要がある。今回の料金改定は、県内平均を下回る水準に抑えられ、激変緩和措置も講じられている。持続可能な水道運営のため、適正な負担を確保する本予算は、市民の利益につながるものと考え賛成する。

請願陳情

今定例会では1件の請願と2件の陳情が提出され、委員会にて審査した結果、いずれも継続審査となりました。

◇請願第1号(令和7年) 日本政府に核兵器禁止条約への参加・署名・批准をするよう意見書の提出を求める請願

継続審査

◇陳情第1号(令和7年) 市民と共に「いじめ」「自殺」「児童虐待」「犯罪」等を減らす取組についての陳情

継続審査

◇陳情第2号(令和7年) 「安全・安心の医療・介護の実現のため人員増と処遇改善を求める」意見書を国に提出することを求める陳情

継続審査

意見書 議員提出議案として意見書2件を可決し、国・政府に提出しました。

◇性犯罪の再犯防止の取組への支援の強化を求める意見書

◇若者の政治参加を促進する抜本的改革を求める意見書

《結果》いずれも可決(全会一致)

人事 ◎戸田市教育委員会委員

なが みち おさむ

長 道 修 氏 (再任)

《結果》同意(全会一致)

委員会の審査から



総務常任委員会

市長公室・危機管理防災課・企画財政部・総務部
会計課・消防・議会事務局・行政委員会事務局

【職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例等の一部を改正する条例】

委員 子育て部分休暇を新設することとした経緯は。

執行部 職員アンケートでの意見を踏まえ、従来からある育児休業法に基づく部分休業を補完するものとして、働きながら子育てができる環境を整備するために実施するものである。

【令和7年度予算】

委員 消防吏員における大型自動車運転免許の取得状況と目標の取得率は。

執行部 現在の取得率は58.5%であり、令和7年度から免許取得に係る半額補助を実施していく、今後5年間で県内平均の70%を目指していきたい。

委員 職務に尽力するにあたり取得する免許であるため、全額補助も検討してほしい。

委員 平和首長会議国内加盟都市会議総会への市長の出席に向けた動きは。

執行部 令和7年度は、4年に1度、広島市・長崎市で交互に開催されている平和首長会議総会が開かれる年であり、8月に長崎で開催される会議への出席に向けて調整を進めている。



はしご車などの運転には大型自動車運転免許が必要

文教・建設常任委員会

都市整備部・教育委員会事務局

【令和7年度予算】

委員 喜沢の歩道橋撤去工事のスケジュールは。

執行部 順調に進めば、小学校の夏休み期間中に撤去を行い、10月には交差点を竣工予定である。

委員 前谷馬場線における工事の進捗状況は。

執行部 中央通りから新曽柳原交差点までの第1工区は、電線共同溝の整備まで完了しており、新曽柳原交差点から市役所南通りまでの第2工区は、令和8年度を目標に用地買収を進めていく。

委員 中学校武道場のエアコンの設置予定は。

執行部 2校に、試験的にルームエアコンをレンタル設置し、効果を検証していく。

【令和7年度新曽第一土地区画整理事業特別会計予算】

委員 今後の調整池整備の見通しは。

執行部 笹目川沿いの2号調整池は令和8年末完成予定。次は、芦原小学校東側の4-1号調整池を計画している。また、戸田翔陽高校グラウンドの4-3号調整池は今後の維持管理を考慮し、位置変更を予定しており、スポーツセンター北側の5号調整池は、集約する方向で検討を進めている。



拡幅及び電線共同溝整備の工事が着々と進んでいます